

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市コミュニティビジョン設置事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060101000874
						単独/補助	単独		010101
政策体系	総合計画の施策名		0601 市民協働のまちづくり				所属課		秘書広報課
	政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり				課長名		
	施策名		01 市民協働のまちづくり				グループ		秘書広報G
	手段名		01 ①広報広聴の充実				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	04	01	00	広報広聴事業		
法令根拠	コミュニティビジョン広告協定					事業期間			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					単年度繰返し (平成22年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	<p>民間広告会社の長田広告と協力し、企業広告つきのテレビモニターを各庁舎に設置し、行政情報の放映を含め、企業等の広告放映を行い、周知する事業です。</p> <p>企業の広告放映については、長田広告において、募集案内及び各企業との契約等を行います。主に市からお知らせを行う行政情報は、秘書広報課において、関係各課に放映の募集案内などを行います。</p> <p>この事業により、定期的に安定した収入が得られることで、桜川市の自主財源が確保できることとなります。</p> <p>平成27年度に、再協定し、協定期間が令和2年度までとなっていました。令和2年度に協定を1年間更新しました。今後は、協定に基づき、更新していく予定です。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジョン開始初年度や更新年度は、協定書の作成および更新手続き、民間企業の広告の審査事務をします。 ・行政情報も放映できる枠が設けてあるため、関係各課に放映の募集案内などを行い、放映する行政情報を取りまとめて、長田広告に申し込みます。 ・長田広告への年間放映料の請求事務を年度末行います。 		

②事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
毎月の行政情報掲載	打ち合わせ回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	募集 (行政情報枠)	回	10.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	情報の発信回数 (企業数×12か月)	回	84.00	84.00	84.00	84.00	84.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民 (市役所に来庁した市民) 広告主	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
	広告主となった企業数	社	7.00	4.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
行政や企業からの情報が入手できる 一般財源を増やす (広告料が入手できる)	市に入る広告料	円	420,296.00	420,760.00	420,703.00	420,703.00	420,703.00
	行政の情報が十分に提供されていると感じている市民	%	49.80	55.40	56.00	57.00	58.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	421	421	421	0
		一般財源	千円	-421	-421	-421	0
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

事務事業名	桜川市コミュニティビジョン設置事業	事務事業No.	60101000874	所属課	秘書広報課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成22年2月～モニター放映開始（笠間市、那珂市で導入されたことから検討）。平成26年4月から消費税増税（5%→8%）により契約額を変更しました。平成27年度から令和2年までは再度5年間の協定を締結しました。令和3年度は協定を1年間延長しました。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市からのお知らせなど映像を使用し、周知できています。また事業に対する市からの支出は無く、放送料は歳入として市の自主財源の確保に結びつくと良いとの意見がありました。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている モニター使用により、来庁した市民の方に行政情報も発信できるため広報機能を果たしている。
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の方が集まる市役所で、情報を発信ができる。市からの費用はゼロで、放送料の収入もある。
有効性	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 一定期間、決められた放送料が実施業者から納入される。
	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の収入が減少する。庁舎内での市民の方への情報発信が少なくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がありません。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はないです。業者との打ち合わせと、行政情報募集するだけの人件費のみであるため削減できない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市からの経費は無しで、収入が発生する本事業は、市民への情報提供も無料で行える適正な事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 企業の協力もあり、市の自主財源の確保が図れました。また、協定を更新すること決定し、今年度の自主財源を確保することができました。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		<input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	